

令和 8 年 8 月 7 日
公益財団法人日本水泳連盟

本多灯選手の国際大会出場辞退について

平素より本連盟の活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、本連盟競泳日本代表選手である本多灯選手が、自家用車を運転中に人身事故を起こし、危険運転致傷の罪で起訴されていたこと、また、本件について本連盟への報告が発生及び起訴から相当期間を経た後となりましたことをご報告申し上げます。

まず何より、お怪我をされた被害者の方に心よりお見舞いを申し上げますとともに、関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

また、本件の把握及びご報告が遅れる結果となりましたことにつきましても、公益法人として社会に対する説明責任を果たすべき立場として重く受け止めており、深くお詫び申し上げます。

本連盟は、本件について報告を受けた後、直ちに事実関係を確認するとともに、慎重に協議検討を重ねてまいりました。その結果、本件の重大性に鑑み、我が国を代表して出場する国際総合競技大会の代表選手としての活動を継続することは適当ではないと判断し、本多選手本人とも協議のうえ、本多選手のパンパシフィック選手権及び第 20 回アジア競技大会（2026／愛知・名古屋）への出場を取りやめることといたしました。

なお、本事案の詳細につきましては、被害者の方のプライバシー保護及び関係機関による手続きへの配慮から、公表を差し控えさせていただきます。今後、公表すべき事項が判明した場合には、改めてご報告を申し上げます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本連盟は、スポーツを通じて社会の信頼に応えるべき公益法人として、本件を極めて重く受け止めております。今後、本連盟倫理委員会における審議等、所要の手続きを進めるとともに、選手・指導者に対するコンプライアンス教育を一層徹底し、再発防止及び信頼回復に努めてまいります。

また、本多選手には、本件を真摯に受け止め、被害者の方への誠実な対応を尽くし、社会からの信頼回復に向けて真摯に取り組むことを強く期待しております。

〈本多灯コメント〉

まずはじめに、私が起こした事件により、お怪我をされた被害者の方と、そのご家族の皆さまに心よりお見舞いとお詫びを申し上げます。

そして、応援してくださっている皆さま、支えてくださるスポンサーさまをはじめとする、関係者の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを心より深くお詫び申し上げます。

また、私から所属会社と日本水泳連盟への報告が、事件発生および起訴から相当期間経過してしまい、結果として多くの関係者の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしたことにつきましても、深く反省しております。

つきましては当面の間、競技会への出場と、ナショナル合宿等への参加を辞退することといたしました。

私の軽率な行動により、被害者の平穏な日常に突然の大きな恐怖を与えてしまったこと、ケガを負わせてしまい、身体的な苦痛を与えてしまったことについて、心から申し訳ないと思う気持ちでいっぱいです。

今後は、まず被害者の方への誠実な対応を第一に、自らの責任と真摯に向き合い深く反省するとともに、社会からの信頼を少しでも取り戻すことができるように、一つひとつ自分の行動を見つめ直し、責任ある行動に努めてまいります。

尚、現在刑事手続が進行中であることから、個別の事実関係に関する詳細なコメントにつきましては差し控えさせていただきますこと、ご理解いただけますと幸いです。

このたびは誠に申し訳ございませんでした。

令和8年 8月 7日

本多 灯